

第1回 学校・保育で明日から使える！【定員100名、先着順】

発達障害の基礎知識と支援のポイント

2019年2月9日(土) 14時～15時45分(受付13時30分～)

講師：高木 一江(横浜市中部地域療育センター所長 児童精神科医)

司会：日戸 由刈(相模女子大学/子育て支援センター)

発達障害の人たちが、成人期に安定して生活していくためには、幼少期から生きる力(ライフスキル)を身につけることが大切です。欧米では、自然なかたちでライフスキルの習得を促すための実践や技法開発が進んでいます。学校・保育の現場で使える、発達障害の特性理解をふまえた関わり工夫やコツについて、横浜市や川崎市の学校教育や就労支援で実践的なチーム医療を展開されている高木先生からお話いただきます。

第2回 青年期のライフスキル支援のポイント【定員100名、先着順】

自己理解と相談力を高める！

2019年3月2日(土) 14時～15時45分(受付13時30分～)

講師：川口 信雄(前横浜わかば学園教諭 進路専任)

司会：トート・ガーボル(相模女子大学/子育て支援センター センター長)

発達障害の人たちへの青年期のライフスキル支援では、自分の強さと弱さの両方を理解し(自己理解)、困ったときに人に相談するスキルを持つことが大切です。発達障害の高校生が通う横浜わかば学園では、独自に開発した3年間のカリキュラムを通して、卒業生全員が就労を継続しています。

その礎をつかった川口先生から、全国どこでも通用するエッセンスについてお話いただきます。

※ 第1回、第2回の

申込方法：「参加希望の回(第1回または第2回)」と、参加される方の「氏名」「職業」「連絡先(メールアドレスまたは電話番号)」

をご記入のうえ、次の①～③のいずれかでお申し込みください。①FAX 042-813-5082

②申込専用フォーム <https://goo.gl/forms/5a3PcSlZ2F1tUGs32> (スマートフォンはQRコード利用可)

③郵送 〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1 相模女子大学子育て支援センター連続セミナー担当

申込締切：【第1回】2月8日(金)締切 【第2回】3月1日(金)締切

問合せ先：相模女子大学連携教育推進課 電話 042-813-5055 / E-mail kosodateshien@mail2.sagami-wu.ac.jp

第1回・第2回会場
相模女子大学
マーガレットホール4階
「ガーデンホール」
小田急線
相模大野駅北口より
徒歩10分



相模原市発達障害支援センター・相模女子大学子育て支援センター合同企画

共催：相模原市教育委員会

さがみはら発達障害連続セミナー2018

発達障害の人たちが成人期に安定して生活していくために
— 幼児・学齢期からできること —

参加費無料

4月2日は「世界自閉症啓発デー」です。相模原市発達障害支援センターでは毎年、この日に向けて講演会を開催し、発達障害への理解促進を図っています

第3回 相模原市発達障害啓発講演会【定員300名、先着順】

発達障害のある人の一生を考える

～人生を見通した準備と選択～

2019年3月23日(土) 13時30分～16時30分(受付12時30分～)

講師：志賀 利一(社会福祉法人横浜やまびこの里 相談支援事業部 部長)

志賀先生は、全国の知的障害や発達障害の方の調査研究に従事し、近年では特に高齢期の実態と必要なサポートについて研究されています。そうした知見もふまえた大変貴重なお話を聴き取るチャンスです。人生のライフイベントをふまえて、どのような一生を送ることが望ましいのか？ 各時期においてどのようなサポートが必要なのか？ 発達障害のある人の一生を取り上げながら、考える機会になると思います。(協力：相模原市自閉症児・者親の会)

申込み先：相模原市コールセンター 電話 042-770-7777 (8時～21時 年中無休)

申込期間：2019年3月1日(金)～3月22日(金)

問合せ先：相模原市発達障害支援センター

電話 042-756-8411(直通) 月～金(祝日除く) 8時30分～17時

第3回会場 相模原市
あじさい会館
JR 相模原駅南口から
バスで「市民会館前」
下車すぐ
または「市役所前」
下車徒歩1分



講演会当日には…相模原市自閉症児・者親の会による「作品展示コーナー」
市図書館による「発達障害に関する書籍の紹介コーナー」も設けます！

